

令和6年能登半島地震について

令和6年能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災した皆さまに心からお見舞い申し上げます。

被災地域では未だ多くの皆さまの安否がわからない状況の中、また十分な支援が受けられない方が多く、皆さまの健康と一刻も早い支援が受けられますことを心よりお祈りいたします。

また、自らも被災をしながら被災者の救援を行っている被災地域の支援者の皆さまをはじめ、公的機関や公共的な活動を行う組織機関、職能団体等から派遣されて被災地域に赴任され、被災者の救援活動に尽力されている方々に深く敬意を表します。

私たち北の国災害サポートチームは北海道の災害中間支援組織として、発災当日より各種媒体や迅速に被災地域に赴きボランティアな支援を行っている災害支援系NPOや災害中間支援組織の皆さまの情報を得るなど、平時からのネットワークを活かした情報収集等を行っております。

こうした情報を基に、現在幹事団体・協力会員がそれぞれでき得る活動を開始したところですが、今後も被災地域の情報収集を重ね、変わりゆく被災地のニーズを迅速に捉え、被災地域で活動する支援団体との連携を図りながら必要な支援の構築に努めてまいります。

なお、北の国災害サポートチームでは、幹事団体および協力会員を含め、個々の主体性に基づく被災者支援活動を制限しません。個々の主体的な活動こそが、被災者支援のキャパシティを広げると考えています。

そのうえで、以下の基本指針を大切に今後の活動を行います。

- **基本指針1** 復興の主役である被災地域を第一に考えた活動を行います。
- **基本指針2** 全国の災害中間支援組織等と連携して情報収集に努めます。
- **基本指針3** 復興フェーズに合わせ、被災地・被災者の意向をふまえた活動を行います。
- **基本指針4** 活動にあたっては安全を第一に考え、引き続きの感染対策を講じます。
- **基本指針5** 北海道内の多様な支援の申し出を、可能な限り被災地域に届けることができるよう災害中間支援組織としての役割を果たします。

被災地では度重なる余震と寒さの中、不安を募らせている皆さまや、支援活動を行う皆さまが多数おられますが、皆さまの安全とともに一日も早い地域の復旧・復興をお祈りしております。

2023年1月8日

北の国災害サポートチーム
代表 篠原 辰二
他 幹事団体 一同